

令和7年度 第3回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和7年6月19日（木） 午後7時から8時45分
■場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
■出席者 委員 : 13名（欠席3名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、伊藤担当長、永田主査

■次 第

- 「豊田市民の誓い」唱和
- 1 会長あいさつ
 - 2 令和7年度第2回地域会議の会議録について
 - 3 協議事項 目指す姿を達成するための地域会議としてのアクション
 - 4 その他
 - （1）上郷地域バスについて
 - （2）次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和7年度第2回地域会議の会議録について

・第2回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

- 3 協議事項 目指す姿を達成するための地域会議としてのアクション

目指す姿や必要な取組の実現に向けて、協議結果に説得力を持たせるため、「主体の妥当性（誰がやるのが適切か）」「実現可能性（本当にできるのか）」について、2つのグループに分かれて協議した。

【グループ①】

- ・リーダーは、会社や自治区等の組織において管理者能力・管理職経験のある方がふさわしい。また、これまで自治区において区長、副区長、評議員、自主防災会の経験がある方が望ましい。特に、自治区運営経験者、自主防災会のメンバーであれば、これまでの経験により避難所の統率を取ることができるのではないか、と考えたため。
- ・運営候補者については、避難所運営の実行部隊となるため、ボランティア精神旺盛な方ややる気がある方。負傷者等への対応も想定されることから、特に、医療経験者、看護師、福祉団体の経験者、消防団、消防職員の経験者が優先して担っていただけることが望ましい。
- ・周知啓発については、住民へ行う。
- ・訓練等は、自治区の自主防災組織が主体になるのがふさわしい。

【グループ②】

- ・啓発は、回覧板で周知を行う、組長が募金を集める時に声掛けを行う、各種団体が活動するときに行う、などのアイデアが上がった。
- ・避難所運営を想定した訓練等は、各自治区の評議員、自主防災会を始め、若い人にも動いてほしいという理由から青少年育成健全育成推進協議会の役員、各学校の校長先生が関わっている地域学校協働本部、地元にいる学生団体、発災時自宅にいる可能性が高い老人クラブ、ジュニアクラブ、各自治区区长に受けてほしい。
- ・回覧板等で HUG の参加者を募ってもよいのではないか。
- ・社会を明るくする運動でも HUG を経験してもらうとよいのではないか。
- ・平常時の備えについては、個別に学校長に確認する機会を設けて確認していけばよいのではないか。
- ・様々な団体に声をかけ、その中で実施してくれる団体を探していく。

4 その他

事務局から、次の事項について報告・連絡した。

- ・上郷地域バスについて
- ・次回の地域会議について
とき 7月17日（木） 午後7時～9時
ところ ふれあいホール